

助成金等公募情報

平成30年度研究開発助成金(平成30年度 第2回)公募

財)三菱UFJ技術育成財団

技術指向型の中小企業の新技術、新製品等の研究開発に対する助成金の交付事業を行います。

第2回の応募期間：平成30年9月1日～平成30年10月31日

■対象企業：新技術・新製品等を自ら開発し、事業化しようとする具体的な計画を持つ、設立創業後もしくは新規事業進出後5年以内の中小企業または個人事業主。

■対象プロジェクト：現在の技術から見て新規性のある研究開発プロジェクトで、原則として2年以内に事業化の可能性が有ること。

■対象資金：新技術、新製品等の研究開発資金およびその成果の事業化に必要な資金。(調査研究費、設計費、設備費、試験費、試作費など)

■助成金額：1プロジェクトにつき300万円以内かつ研究開発対象費の1/2以下(交付決定時前払い)

■問合せ先：(公財)三菱UFJ技術育成財団 TEL: 03-5730-0338/E-mail: info@mutech.or.jp

URL: <http://www.mutech.or.jp/subsidy/>

A-STEP ステージⅢ NexTEP-A (平成30年度・第二回)

A-STEPステージⅢNexTEP-Aは、平成30年度は3回の公募期間を設け、通年で応募を受け付けています。

・第一回：平成30年4月2日(月)～7月31日(火)

・第二回：平成30年8月1日(水)～11月30日(金)

・第三回：平成30年12月1日(土)～平成31年3月29日(金)

■申請者：シーズの発明者・所有者の了承を得た開発実施企業

■研究開発期間：最長10年

■研究開発費：1億～15億(開発成功時 全額年賦返済、開発不成功時 10%返済 実施料納付)

■問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 A-STEP募集担当窓口 tel 03-5214-8994 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

今後のイベント情報

山梨大学 個別技術相談会

参加無料

機械製造・食品製造・情報処理 等

企業の皆様に大学研究者の技術、ノウハウ、知見をご紹介するとともに、ご相談内容について提案・助言等を行う相談会です。産学連携全般の相談、ご要望があれば助成制度についての説明もいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

日時：平成30年10月23日(火) 10:00～17:00

会場：山梨中央銀行 韮崎支店

形式：本学コーディネータと企業様と個別スペースでの面談

申込締切：平成30年10月18日(木)

主催：山梨大学 共催：山梨中央銀行

JST新技術説明会

山梨大の研究者が、特許等の研究成果を説明し技術移転を支援します。個別相談もあります。

日時：平成30年12月6日(木) 10時～

場所：JST東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)

主催：JST、山梨大学

テクノプラザおかや

“ものづくりフェア2018”

日時：平成31年2月1日(金)、2日(土) 時間は未定

場所：テクノプラザおかや

主催：テクノプラザおかやものづくりフェア2018 実行委員会

【発行 2018年10月1日】



国立大学法人 山梨大学

研究推進・社会連携機構

新技術情報クラブ事務局

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL: 055-220-8754 FAX: 055-220-8757

E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp

URL: <http://www.scrs.yamanashi.ac.jp/>



山梨県最大級の“ものづくり”と“情報通信”の展示会です。山梨大学も出展いたしますので、是非お立ち寄りください。

日時：平成30年11月15日(木)～17日(月)

10:00～17:00、17日は16:00まで

場所：アイメッセ山梨(甲府市大津町)

主催：山梨県機械電子工業会、山梨県地域ICT推進協議会、やまなし産業支援機構

大学TOPICS

大村智本学特別荣誉博士と山中伸弥京都大学iPS細胞研究所長が「大村智記念学術館」完成を記念し特別対談！

平成30年7月19日(木)、甲府キャンパスにおいて、「大村智記念学術館 完成記念披露式典」を挙行了しました。この学術館は、2015年にノーベル医学・生理学賞を受賞された本学卒業生・大村智特別荣誉博士を讃え、そのご功績を末永く顕彰することを目的に、甲府西キャンパス正面入り口付近に創設しました。館内には、大村博士の品々などの展示コーナーや本学所蔵の歴史資料や研究成果などが展示されているほか、150人収容の記念ホールが設けられています。

また、同日、開館記念イベントとして、2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞された山中伸弥京都大学iPS細胞研究所長をお招きし、「ノーベル賞受賞者が語る！一本音で語るノーベル賞への道」と題し、大村智特別荣誉博士との特別対談を開催いたしました。対談では、ノーベル賞受賞に至るまでの道のりや、日本の学術研究の現状と課題等について、活発な議論が展開されました。なお、会場のほか、甲府東キャンパス、医学部キャンパスでの生中継や本学エリア放送で各拠点へ配信されました。

特別対談の様子は <https://vimeo.com/282256452> からご覧いただけます。



左より 島田学長、山中所長、大村博士



対談の様子

マウス精子を室温で1年以上安定して保存できる方法を開発！
—電力不要で維持費がかからない遺伝子資源の室温保存の可能性を示す—

山梨大学発生工が研究センターの若山照彦教授、若山清香特任助教らの研究グループは、室温(机の引き出しの中)で1年以上保存したマウスのフリーズドライ精子から健康な産仔を作出することに初めて成功しました。

今回研究グループは、室温では短期間しか保存できない原因がアンブルビン内に混入した空気であることを突き止め、高真空アンブルビンを作製しました。このアンブルビンで室温で1年以上保存した後、精子のDNA損傷度や受精能を調べ、最後に胚移植を行ったところ、問題なく健康な産仔を得られることが分かりました。この方法はチイサナアンブルビンを使用するため、場所を取らず、冷凍庫どころか冷蔵庫も必要なく、維持管理コストがまったくかかりません。実際に実験では、机の引き出しの中で1年以上保存したマウスの精子から100匹以上の産仔を得ることに成功しました。

今後、本方法の信頼性が証明できれば、動物の遺伝子資源も室温で安全に長期保存が可能になるだけでなく、毎年全世界で作られる膨大な数の遺伝子改変マウスの維持費や、不妊治療における精子の保存費の大幅削減が期待できます。

第2回「山梨中央銀行との連携推進協議会」を開催

平成30年9月4日(火)、甲府キャンパスにおいて「第2回山梨大学・山梨中央銀行連携推進協議会」を開催しました。

同行と本学は、平成17年7月に「包括的業務提携に関する協定」を締結以降、現場レベルでの様々な取組を通じて相互の連携を深め、密接な協力関係を築いてきました。昨年、本協議会を発足させ、具体的な取組を実行する専門委員会も設置しました。

連携協議会では、現在推進している同行の「品質管理・業務改善に向けた取組」や、「金融リテラシー向上に向けたスマートフォン向けアプリ開発」について、進捗状況や今後の見通しを本学教員が説明しました。また、同行から派遣された「地域連携コーディネータ」内藤久俊氏が、研究シーズの把握や産業界のニーズとのマッチングの成果・実績等を報告しました。今後は同行ATMのパフォーマンス分析をテーマに連携を推進してまいります。



挨拶する関 光良 同行頭取

山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので
会員以外には公開しておりません。

産学官連携TOPICS

「やまなし食のマッチングフェア2018 in TOKYO」に出展！

平成30年7月20日(金)に山梨中央銀行主催の展示・商談会「やまなし食のマッチングフェア」が京王プラザホテル(東京都新宿区)本館4Fで開催され、本学も出展致しました。13回目となる今回は山梨・東京・神奈川の太陽や大地の恵みをたっぷりと受けた「安心・安全」な食材が並び、農・食品関連事業者と「食」のバイヤーや「観光」エージェントとの商談の場となりました。

本学は「研究交流(共同・受託研究、学術相談)」やその成果として「山梨大学発ワイン」ポスター展示、ワイン展示、関連資料の配布を行いました。



山梨大学ブース

会場の様子



イノベーション・ジャパン2018ー大学見本市ーに出展！

国内最大規模の産学マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2018」が8月30日(木)・31日(金)に東京ビッグサイト(東京・江東区)にて開催され、本学からは、「超音波を用いた脊椎伸長装具の開発(寺田英嗣教授)」、「極細蛍光ワイヤーを用いた気流温度分布の3次元計測装置(船谷俊平助教)」、「並列化微量免疫分析デバイス(浮田芳昭助教)」が出展し、2日間の延べ来場者数は20,000名以上にのぼりました。全国各地から集結した研究者及び中小・ベンチャー企業の開発・研究成果が日本のオープンイノベーションを加速し、新産業の創出に寄与することが期待されています。



多くの来場者があふれる会場



出展研究者(各自ブース前にて)



コーディネータによる【研究者紹介】

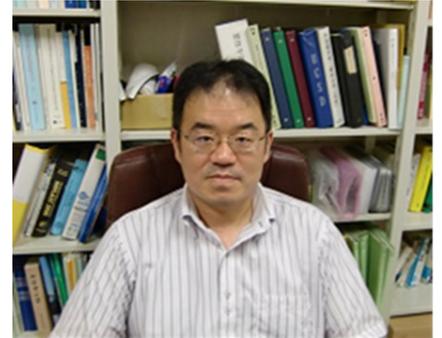
機械工学科 教授 岡澤 重信先生

今回は、工学部機械工学科(工学域機械工学系)教授の岡澤重信先生をご紹介します。研究分野としては、「構造力学、計算工学」になりまして、さまざまな自然現象、物理現象などをスーパーコンピュータなどを用いて精緻に解へ導く研究です。

一例を挙げますと、自動車などの移動する構造体が壁面などへ衝突した際の過渡応答的な変形解析などを専門に研究されておられます。新技術情報クラブの企業様に於かれましても、開発した製品の構造体がクラッシュなどした際に「なぜだろう」と感じたこともあるかと思えます。多くの構造設計で詳細な構造解析が出来ない場合には、「安全率」を多めにかけることで回避することもあるかと思えます。しかしこの場合には、軽量化や低コスト化に対して逆風となってしまいます。また、数回の試作を経て設計を確定することもあるかと思えますが、試作には時間も経費も多く掛かりますのでできれば1回で済ませたいところです。

ギリギリまで研ぎ澄ました構造設計をお望みの方には、岡澤先生の計算工学が効果を発揮するかもしれません。ぜひ一度ご相談ください。

なお、11月15-17日のテクノICTメッセの16日のプレゼンコーナーにて、「コンピュータシミュレーションによるモノづくり革新の取り組み」と題して岡澤先生がプレゼンテーションを予定しておりますので、メッセプログラムなどをご確認頂ければ幸いです。



岡澤重信教授

文責：統括コーディネータ 還田 隆

大学TOPICS、新技術情報クラブ報告

アカデミックサロン(第21回)を開催しました！

第22回アカデミックサロンを、平成30年8月28日(火)午後4時から甲府駅北口(山の手通り)「アジュール」にて開催しました。工学部(情報メカトロニクス工学科)の丹沢勉(たんだわつとむ)准教授から「運転ロボットにお任せ」というテーマで、自動車の自動運転のための環境認識や視覚障害者用歩行ガイドロボットへの適用について講演を頂きました。特に興味深かったのは、人間の眼と同じように立体的に周囲の環境を認識できる「ステレオカメラ」の技術でした。これは、周囲環境を認識する各種センサーと共に今の自動運転支援システムの基本技術になっています。また視覚障害者用歩行ガイドロボットについても同様の技術が利用されており、現在はより実用的なハイテク歩行器を開発中とのことです。

丹沢先生ご自身が、某自動車メーカーのご出身で、特に自動運転開発部門にいらした時の体験談や隠れたエピソードなどをご披露頂き、出席者から様々な質問が出され、大変関心度の強い講演となりました。



第21回アカデミックサロン風景

新技術情報クラブ2018年度第一回交流会を開催しました！

平成30年度第1回目の交流会は、前半で大村智記念学術館にて館内の見学を行いました。本学術館は、2015年ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村 智 特別荣誉博士を讃え7月に創設されたものです。館内には、大村博士ゆかりのノーベル賞の受賞関係展示物、本学卒業時の卒業論文や大学所蔵の歴史資料や研究成果などを展示されており、参加者は、各コーナーに足を止めて見入っていました。

また後半は工学部情報メカトロニクス工学科の堀井宏祐助教による「デジタルツインで製造業が変わるか?」と題して講演を頂きました。デジタルツインとは、デジタルの双子を意味し、具体的には現実の製品や設備をデジタルモデルで再現し、稼働状況などのセンサ情報をリアルタイムに反映させ分析し、実世界に反映する物理モデルです。将来的にものづくりを大きく変貌させる可能性をお話し頂きました。

また情報交換会では、堀井先生もご参加頂いて意見交換をし懇親を深めることができ、大変有意義な会となりました。